

第 28 回 山のグラウンドワーク 事業実施報告書

1. 事業の概要

第 28 回山のグラウンドワークを、「東広島市憩いの森公園」で開催しました。今回は、いつもの広島大学「森林と人間」講座の学生に、広島大学「景観生態学」講座の学生も加わり広大の学生、院生だけで約 80 人が作業に参加しました。そのほか、東広島市内でチラシを見て参加された方も少しずつ参加され、活動の広がりがみえてきました。今回の作業は午前中、秋に予定している植樹のために、造成地緑化に広まったがその後その毒性により除伐の対象となったエニシダを「森林と人間」講座の学生が除伐し、残りの参加者は前回のグラウンドワークで除伐した材を山から運び出す作業を行い、チップパーシュレッダーマシンがフル稼働で除伐材をウッドチップに変えていきました。今回、賀茂地方森林組合からシュレッダーをお借りし、2 人の技師の方に指導と機械作業をしていただきました。多少風が強い日でシュレッダーの周囲は、チップが巻き上がりじっとしてられない様子でしたが、穏やかな日差しの中、作業は順調に進み、午後の除伐作業が終わるころには、前回除伐した材は、チップとマキ用の材に整理されました。
2. 日 時 2007 年 5 月 13 日（日）9：30～15：00
3. 場 所 東広島市憩いの森公園（龍王山）炭焼き広場周辺
4. 参加者 111 人
5. 作業内容 ①除伐材の回収 ②雑木林の除伐 ③除伐材のチップ化
④エニシダの除伐
6. 天候 晴れ
7. プログラム

8：45	スタッフ集合・準備
9：00	受付(セミナーハウス)
9：30	開会式（炭焼き広場）
10：00	グラウンドワーク(エニシダ・雑木林の除伐など)
11：50	作業終了
12：00	昼食
12：40	グラウンドワーク（雑木林の除伐・チップ化など）
14：15	閉会式（炭焼き広場）
14：30	解散
8. 役割り分担

総括責任者	中越 信和（西条・山と水の環境機構運営委員）
進行責任者	斉藤 大輔（広島大学大学院中越研究室）
作業指導	宿利 英司（広島県森林環境づくり支援センター） 高下 義彦（賀茂地方森林組合）
看護	水田 純子（井野口病院看護師）
9. 実施体制 主催：西条・山と水の環境機構、広島大学
協力：賀茂地方森林組合、広島県森林環境づくり支援センター、



開会式（炭焼き広場）



広島県森林環境づくり支援センターの除伐指導



中越広島大学大学院教授の開会挨拶



前垣西条酒造協会理事長の挨拶



ウッドチップを堆肥にする囲いの増設



除伐して日が差し込み始めた里山の雑木林



黄色い花のエニシダを除伐する学生



エニシダの伐材後、黄色が見えなくなった



賀茂地方森林組合のウッドチップパーが大活躍



積み上がった除伐材がみるみるチップになる



閉会の挨拶は、平岡理事（中国電力㈱）



作業を行った里山林をバックに記念撮影